

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点 取扱内容 教科「道徳」の目標、内容等	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳131 道徳231 道徳331 道徳431 道徳531 道徳631	あたらしいどうとく1 新しいどうとく2 新しいどうとく3 新しいどうとく4 新しい道徳5 新しい道徳6
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、どのようなときに生きていると感じるかや自分が生まれたとき、回りの人はどのようなことを思ったかを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達が本当のことをごまかそうとしたら、どうするかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、自分や他人の生命について、どのようなことを大切にしているかや生きているからこそ感じることで、できることは何かを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、知らない人に親切にしている人を見たとき、どのようなことを感じたかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自然や生き物を見たりさわったりしたとき、どのようなことが心に残るかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、身近な自然を守るためにできることは、どのようなことがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じるができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自分の住む町や国のどのようなところが好きかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、自分の生まれ育った地域で大切にされている伝統や文化には、どのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになってきている。第2学年においては、ゲーム等を扱い、命はいくつもあるのか、命が大切な理由は、どのようなことを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、チェーンメールを扱い、よく考えて守らなければならないきまりには、どのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 内容を構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、第3学年以上に、問題の解決を段階的に考える「問題を見つけて考える」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、体験活動との関連を図った教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。例えば、第5学年においては、Aは8教材、Bは8教材、Cは16教材、Dは9教材、Eは2教材、全体で43教材であり、総ページ数は176ページとなっている。(判型はA B判)</p>			
その他	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、自分の成長を見取る「学習のふり返し」、1年間の学習を振り返る「かがやく自分に」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになってきている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭や地域との連携を促す「付録つながらる 広がる」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになってきている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	11・学図	第1学年	道徳132、道徳133	かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん よみもの、かつどう
		第2学年	道徳232、道徳233	かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの、かつどう
第3学年		道徳332、道徳333	かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの、活動	
第4学年		道徳432、道徳433	かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの、活動	
第5学年		道徳532、道徳533	かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの、活動	
第6学年		道徳632、道徳633	かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの、活動	
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び 教科「道徳」の目標、内容等 特別の	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、どのようなときに生きていることがすばらしいと感じるかや新しい命が生まれることについて、どのようなことを感じたかを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、誰にでも同じ気持ちで接してよかったと思ったことは、どのようなことかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、生活の中で生命を守るために、どのようなことをしなければならぬかや命が大切であると思う理由は何かを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、同じ立場になって初めて分かったという経験は、どのようなことがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるようになることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、これから、どのような気持ちで生き物と接していこうと思うかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては自然環境を守るためにできることは、どのようなことかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じるようになることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った町のよいところやおもしろいところは、どのようなところかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、伝統や文化を陰で支える人は、どのような思いで受け継いでいるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになってきている。第2学年においては、伝えたり、聞いたりすることを扱い、伝えたり聞いたりするときに、相手のために気を付けた方がよいことは何かを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、SNSを扱い、文字だけのやりとりでは、どのようなことに気を付けたらよいかを話し合う活動等を取り上げている。</p>		
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各学年の別冊に、道徳的価値に迫る効果的な活動を示す発問「はなしあおう」、「かいてみよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年の別冊に、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。例えば、第5学年においては、Aは9教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは9教材、Eは5教材、全体で42教材であり、総ページ数は別冊を含め204ページとなっている。（判型はA B判）</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に学習を振り返る「道徳の学習をふり返ろう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになってきている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年の別冊に、学習内容を解説し、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになってきている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
そ の 他				

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取扱内容</p> <p>教科「道徳」の目標、内容及び特別の学習指導要領の総則及び</p>	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳134 道徳234 道徳334 道徳434 道徳534 道徳634	小学どうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学どうとく4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、命という言葉聞いて、どのようなことを思い浮かべるかや今まで生きてきて楽しかったことやできるようになったことは何かを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達を仲間はずれにしないために、どうしたらよいかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、かけがえのない命を未来にどのように伝えていくかや命を輝かせるとは、どのようなことか話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、インターネットでのいじめを防ぐために自分にできることは、どのようなことがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、春という季節のよいところや自分たちの回りにある春は、どのようなものがあるかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、豊かな自然環境と、どのように共存していくかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自分の生まれ育ったふるさとのよいところは何かを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、身近な地域の祭りには、どのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになってきている。第2学年においては、電話を扱い、知らない相手から、学級の友達の電話番号を教えてほしいと言われたとき、どのように受け答えをするかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、携帯電話を扱い、インターネットでのいじめを防ぐために大切なことは、どのようなことか話し合う活動等を取り上げている。</p>			
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、一年間の道徳の学習で一番心に残ったことを記入する「一年間の道徳の学習をふり返ろう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになってきている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、学校と家庭との連携を促すことを目的とした「家の人から一言」、「先生から一言」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになってきている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
<p>その他</p>				

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 特 別 の 教 科 道 徳 の 目 標 、 内 容 等	38・光村	第1学年	道徳135	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき
		第2学年	道徳235	どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき
		第3学年	道徳335	どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき
		第4学年	道徳435	どうとく 4 きみが いちばん ひかるとき
		第5学年	道徳535	道徳 5 きみが いちばん ひかるとき
		第6学年	道徳635	道徳 6 きみが いちばん ひかるとき
		内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自分の命が支えられていると感じるのは、どのようなときかやかけがえのない命とは、どのようなことだと思えるかを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、みんなで楽しく過ごすためにできることは、どのようなことかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、精一杯生きるということは、どのような生き方をするのかや生きていることの不思議さやすばらしさをどのようなときに感じるかを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達とすれ違いが起きてしまったら、どのようにするとよいかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自分の学校や地域で、自然はどのように守られているかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、自然と人は、どのように関わっていくとよいかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、おせち料理のほかに、願いを込めて作られた日本の料理には、どのようなものがあるかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、和菓子のように、大切にしたい日本の伝統や文化には、どのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになってきている。第2学年においては、自分が作った作品を扱い、勝手にまねをされてしまったときの気持ちを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、インターネットを扱い、情報を発信するときに気を付けなければならないことは何かを話し合う活動等を取り上げている。</p>	
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、「学習のまとめ」の区切りに道徳で学んだことを記録する「学びの記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになってきている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、長期休業中の自主的な学びや家庭での話し合いにつなげる「夏休みの前に」、「冬休みの前に」等を配置し、家庭や地域等社会との共通理解を深めることができるようになってきている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
そ の 他				

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 教科「道徳」の目標、内容及び学習指導要領の総則及び特別の	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳136、道徳137 道徳236、道徳237 道徳336、道徳337 道徳436、道徳437 道徳536、道徳537 道徳636、道徳637	しょうがくどうとくいきるちから1、どうとくノート 小学どうとく生きる力2、どうとくノート 小学どうとく生きる力3、どうとくノート 小学どうとく生きる力4、どうとくノート 小学道徳生きる力5、道徳ノート 小学道徳生きる力6、道徳ノート
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自分が大きくなったと思うのは、どのようなときかや生きているからできると思うことは、どのようなことを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、一緒に遊べない友達がいたとき、どのようにしたらよいかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、命の大切さを、どのように感じるかや精一杯生きるとは、何を大切に生きていくかを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達との関係で、どのようなことを大切にしているかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、生き物を観察したり生き物について話をしたりしたことは、どのようなことがあるかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、普段の生活で自然を大切にしたいと思うことは何かを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った地域の祭りには、どのような願いが込められているかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、伝統や文化を大切に守り続けることのよさとは、どのようなことを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになってきている。第2学年においては、電話を扱い、電話の受け答えが上手にできると、相手はどのような気持ちになるかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、携帯電話を扱い、インターネットでのいじめを防ぐために大切なことは、どのようなことを話し合う活動等を取り上げている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年の別冊に、心に残った教材とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書きましよう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになってきている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになってきている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 			
その他				

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 教科「道徳」の目標、内容等	208・光文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 138 道徳 238 道徳 338 道徳 438 道徳 538 道徳 638	しょうがくどうとく ゆたかな ころろ 1ねん 小学どうとく ゆたかな ころろ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 小学どうとく ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年
内容の構成・ 排列、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、命の大切さについてどのようなことがわかったかや自分や友達の生きる力を感じる場面は、どのような場面かを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、誰とでも仲よくするためには、どのようにしたらよいかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、自分の命が支えられていると感じるのは、どのようなときかやよりよく生きるということは、どのようなことかを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、自分の短所を改め、長所を伸ばしていくためには、どのようにするとよいかを話し合う活動等を取り上げている。 ○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自分の好きな花や木のどのようなところが好きかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、自然の仕組みを守るために自分ができることは、どのようなことかを話し合う活動等を取り上げている。 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った地域の人たちの心がこもった活動は、どのようなことかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、他の国の人と親しく付き合うために、大切だと思うことはどのようなことかを話し合う活動等を取り上げている。 ○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。第2学年においては、メールを扱い、行ってよいことと、よくないことの違いは何かを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、スマートフォン等を扱い、使い方が原因で問題が起こらないようにするために、気を付けることを話し合う活動等を取り上げている。 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各学年に、児童の考えを深めたり広げたりすることができる「キャラクターの問いかけ」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、「みんなでやってみよう！」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として 集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。例えば、第5学年においては、Aは12教材、Bは11教材、Cは16教材、Dは11教材、Eは2教材、全体で52教材であり、総ページ数は184ページとなっている。（判型はA4判小） 			
その他	○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、授業後の心の動きや学びを継続して記入する「学びの足あと」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示した「ひろげる」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。 				

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取扱内容</p> <p>教科「道徳」の目標、内容及び学習指導要領の総則及び特別の内容等</p>	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳139 道徳239 道徳339 道徳439 道徳539 道徳639	みんなのどうとく1ねん みんなのどうとく2年 みんなのどうとく3年 みんなの道徳4年 みんなの道徳5年 みんなの道徳6年
<p>内容の構成・排列・分量等</p>				<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになってきている。例えば、第2学年においては、自分の命を宝物と感じるのは、どのようなときかや生きてよかったと思うのは、どのようなときかを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、みんなで使う場所を使うとき、どのようなことを大切にしているかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、これまでに命の大切さを感じたことは、どのようなことがあるかや日々の生活の中で、命の重さについて実感したことは、どのようなことがあるかを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達を思いやることについて、どのようなことが大切だと思うかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、身近な動物や植物のために、自分にできることは何かを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、地球環境を破壊する心、守る心は、どのような気持ちから生まれるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、日本の行事で好きなものや興味のあるものは何かを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、自分たちが受け継ぐ日本人の心には、どのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになってきている。第2学年においては、作成したニュースの記事を扱い、間違ったことが広まると、どのようなことになるかを考える活動等を取り上げている。また、例えば、第5学年においては、インターネットを扱い、楽しく安全に使うためのルールは何かを話し合う活動等を取り上げている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>				<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各学年に、問題解決的な学習の道筋を紹介する「学び方のページ（深めよう）」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた「学び方のページ（やってみよう）」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。例えば、第5学年においては、Aは9教材、Bは9教材、Cは9教材、Dは8教材、Eは1教材、全体で36教材であり、総ページ数は160ページとなっている。（判型はA4判）</p>
<p>その他</p>				<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、心に残ったことなどを記入する「心の宝物」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになってきている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、保護者が記入する欄を設けるなどの家庭と連携する学習活動を提示した「家マーク」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになってきている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>教科「道徳」の目標、内容等</p>	232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳140 道徳141 道徳240 道徳241 道徳340 道徳341 道徳440 道徳441 道徳540 道徳541 道徳640 道徳641	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのだうとく1、だうとくノート1 みんなで考え、話し合う小学生のだうとく2、だうとくノート2 みんなで考え、話し合う小学生のだうとく3、だうとくノート3 みんなで考え、話し合う小学生のだうとく4、だうとくノート4 みんなで考え、話し合う小学生の道徳5、道徳ノート5 みんなで考え、話し合う小学生の道徳6、道徳ノート6
<p>内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等</p>				<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。例えば、第2学年においては、命の大切さを感じるときは、どのようなときかや命とは、どのようなものだと思うかを考える活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、誰かをいじめたり、いじわるをしたりする人がいたら、どのようにしたらよいかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、なぜ、命はかけがえのないものなのかや命を大切に生きていくことは、どのようなことを話し合う活動等を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめを許さない、見過ごさないために、自分はどのような心を育てたいかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。例えば、第2学年においては、動物の命を大切にするために、どのようにしたらよいかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、どうして自然を大切にする必要があるのかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさ、国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。例えば、第2学年では、自分の生まれ育った町には、どのような祭りがあるかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、伝統や文化を受け継ぎ、発展させていくことは、なぜ大切なのかを話し合う活動等を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。第2学年においては、作成したニュースの記事を扱い、間違ったことが広まると、どのようになるかを考える活動等を取り上げている。また、第5学年においては、インターネットを扱い、情報を得たり、発信したりするときには心がけなければならないことを話し合う活動等を取り上げている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>				<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年の別冊に、家の人に見てもらったことを記録するチェック欄を設けた「心のしおり」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>そ の 他</p>				